

エコ・あぐり・タウン くねっふ 応援団だよ

平成26年 11月28日発行 NO.37

訓子府町の「ふるさと応援団」に参加いただき、ありがとうございます。皆さまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

★12月に公演

「町の人に喜びを」

応援団トピック

訓子府町と近隣在住の若者21人が、アマチュア劇団「訓子府座」を立ち上げました。

団員は20～30代の農家や公務員、会社員で訓青協のメンバーを中心に、有志が集まりました。座長を務める保育士の但野亜佐子さんは昨年、訓青協の一員として創作劇「妻恋橋」に参加し、幼い頃から興味があった演劇に一層関心を強めました。

今年1月には、町内での創作劇の公演を通じ「町の人がすごく喜んでくれた」と演劇の魅力を再認識しました。より深く演劇活動に取り組みたいと劇団結成を呼びかけ、8月末に実現しました。

演劇活動と仕事を両立させるため、稽古は週2回の夜間に限られています。監督も演出家もおらず、演技指導は団員同士が試行錯誤しながら行います。仲間と共に舞台を創り上げる熱意を感じ「すごく充実感を感じる」と座長は話しています。



稽古の様子

12月の旗揚げ公演の演目は、米国の社会福祉事業家ヘレン・ケラーの物語「奇跡の人」。ヘレン役の町職員、内藤泰葉さんは演劇初心者ながら、障がい克服する女性という難しい役に挑みます。但野さんは「町の人に喜んでもらえる公演ができれば、うれしい」と話していました。

劇団『訓子府座』旗揚げ公演

*平成26年12月23日(火)

開場 13:30～ 開演 14:00～

訓子府町公民館講堂(訓子府町東町400番地)

*大人:800円 小中高生:400円 親子:1,000円

*主催:訓子府座実行委員会

子どもたちが舞台上で熱演

訓子府町内の中学校の学校祭、小学校2校(訓子府小学校・居武士小学校)の学芸会、訓子府幼稚園の発表会がそれぞれ10月、11月に行われました。



訓中では、各クラスが劇を披露。ステージ上で各生徒がそれぞれの役になりきって、熱演していました。

訓小・居小では劇や合唱、器楽演奏など、児童が日ごろの練習の成果を存分に発揮し、訪れた父母などから大きな拍手を受けていました。



幼稚園や保育園では劇や器楽、さらに遊戯を子どもたちが元気良く披露し、父母やおじいちゃん、おばあちゃんを喜ばせていました。

応援団からの声

・10月に入り朝夕の風はかなり肌寒くなりました。訓子府はもうストーブの季節でしょうか。

訓子府のいろいろな写真、データ等を見ました。こういうのを見て訓子府頑張れ!という気持ちがわいてきます。私は、昭和38年3月まで住んでおりました。以来52年、老いて訓子府がしのばれます。

訓子府は永久です。どうか役場の面からも発展、ご尽力期待申し上げます。

他にもたくさん温かいご意見をいただいております。ありがとうございました。

超高齢社会を迎えて

訓子府町特別養護老人ホーム「くねっふ静寿園」の増床オープン

～個室10床とショートステイ2床の増床、デイサービス面積の拡大～

平成2年に静寿園は4人部屋10室、2人部屋4室、1人部屋2室、計50床とショートステイ2床でスタート、平成8年にデイサービス開始と同時にショートステイ6床を増床、平成10年には隣接してケアハウスを建設し、運営母体の社会福祉法人訓子府福祉会(理事長松田和之氏)と両輪で町の高齢者福祉の役割を担ってきました。しかしここ数年の間に65歳以上の高齢者がしめる割合は30パーセントを超え、静寿園の町内待機者も70名になりました。住み慣れた町を離れなければならない高齢者、長年連れ



添った夫婦が別々の生活を強いられる等々、現実生活に即した高齢者施策は待たなしです。国は介護保険法を改正し施設入所の負担や入所基準をさらに厳しいものにしようとしています。総事業費2億6千6百万円の負担は国の補助制度がない中での大きな決断です。私は記念式の中で「待機者のすべてを解消することにならないが、第一歩を踏み出しました」と期待を込めて語りました。

北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

町長's Eye



北海道 訓子府高等学校



校訓 清流 拓心

ふれあい・はばたき

校訓・清流拓心＝「清流」には訓子府の町を脈々と流れる常呂川のように、多くの触れ合いの中で、清く強く、心の正しい人になること、「拓心」には恵まれた自然の中に、自らの心を耕し、各自の道を切り開き、はばたいていく願いが込められています。

〒099-1403

北海道常呂郡訓子府町東幸町 157 番地

TEL・FAX：0157-47-2400

E-mail：kunneppu-z0@hokkaido-c.ed.jp

<http://www.kunneppu.hokkaido-c.ed.jp/>

訓子府高校は昭和23年北斗高校（北見市）の分校として開設以来、学科転換や町立から道立への移管、2間口から1間口への削減など多くの変遷をたどっています。今年の入学者数は、定員を多く下回りました。少子化社会が進行する中、転換期を迎えている訓高の現状を紹介します。

■訓子府高校の地域への貢献■

訓子府高校は、人口規模の小さな本町の文化活動・経済活動に大きく貢献し、文化サークルへの参加やボランティア活動など教育文化活動の推進、購買力による地元経済の活性化など、まちづくりにも大きな影響力を有しています。

■訓子府高校の魅力ある学校づくり■

訓子府高校は、「**あなたの夢を実現する訓子府高校**」をテーマに魅力ある学校づくりを進めています。

◆進路希望に応じた2つのコース

◎教養コース…進学や公務員試験を志望する生徒対象

◎実務コース…ビジネス系専門学校への進学や就職を希望する生徒対象

◆学力に応じた少人数での授業

◎主要科目で「習熟度授業」

◎実技科目で「少人数指導」

◎チームティーチング

◆職業キャリア教育

◎進路出前授業…専門学校の授業を高校で受講

◎職業見学会…事業所を見学し、職業調べ

◎インターンシップ…事業所で3日間の職業体験

◎進路ガイダンス…面接で社会人の心構えを学ぶ

以上の「キャリア教育」を実施しています。

このほか「あいさつ日本一の学校をめざして」を目標に、あいさつ・返事・身だしなみを大切にする教育を実施中。「制服着こなし講座」や「メンタル講演会」、月1回の「生徒集会」などで3年間通し、丁寧なガイダンス指導で生徒一人ひとりの目標実現に向けた進路指導を行っています。

これらの成果として、過去3年間85人の卒業生は、大学や医療系、保育系専門学校などへの進学が41人、管内小売業や宿泊業、公務員、自営業など就職が44人とそれぞれ各分野で奮闘しています。

進学
実績
3年連続
100%

就職
実績
3年連続
100%

最優秀賞
賞金10万円

他、多数の賞をご用意しております。

くねっぶ 訓子府町四季観光 フォトコンテスト

ことばにできない瞬間がそこにある。

訓子府町の四季折々の「自然」「風景」人々の「生活」「祭り」「風物」など、訓子府町の魅力が表現された作品を募集しています。

- 部門 人々・産業・自然
- 写真サイズ 四ツ切またはインクジェット出力A4サイズ（四ツ切ワイドは認めない）
 - ・いずれも撮影フォーマットの違いによる余白の発生は認めます。
 - ・カラー・モノクロ 自由
 - ・合成写真は不可。単写真に限ります。
- 応募期間 平成26年11月1日～平成27年10月30日

応募規定や応募票等については、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

- 問合せ
訓子府町産業観光振興協議会（事務局：訓子府町役場農林商工課）
TEL：0157-47-2116（平日 8：45～17：30）
- 送り先
〒099-1498 北海道常呂郡訓子府町東町 398 番地
訓子府町産業観光振興協議会

【フォトコンテスト応募作品と明記】